

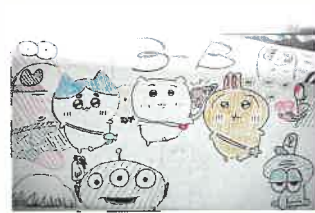
紫波総合PTA会報

岩手県立紫波総合高等学校PTA

IWATE Prefectural SHIWA Comprehensive Senior High School

令和6年度

01号



CONTENTS

- PTA会長・学校長挨拶
- 令和5年度卒業生 合格・内定一覧
- 令和6年度PTA役員及びPTA学級理事
- 高総体を終えて ■ 事務局だより



新たな時代へ

PTA会長 鈴木由美子

日頃から、本校PTA活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。今年度PTA会長を務めさせていただきます。昨年度まで活動美子と申します。昨年度まで活動

され、多数の実績を残された齋藤会長の後任という事もあり、重責を感じております。しかし引き受けたからには、尽力させていただきます。不慣れで、何かと御迷惑をおかけしてしまうことがあるかもしれませんが、何卒御協力いただきたく宜しく願います。

さて、タイトルについて昨今の社会風潮や世界情勢が不安定な情報飛び交う中、未来を担う子を育てる保護者の立場として日々思いを巡らせる事はとても多く、情報や選択肢もたくさんあります。生徒たちにとっては、目の前の課題や問題に追われ、未来のことまでわからない！と言った声も聞こえてきそうです。

PTA活動といえば、堅苦しく、形式を整えたのみの活動のイメージ

しかし湧かないかもしれません。しかし本来PTAとは、先生と保護者が協力体制をつくり、生徒たちの成長と飛躍を全力でサポートする事であると思っています。

世の中の風潮の変化や流れはとも早く、聞き慣れない言葉や単語が飛び交い、ついに行くのがやっとなです。私たち保護者も、先生方や子どもたちと一緒に学習と経験を重ね、熟練した保護者になるべく奮闘をする中、生徒にとっての心強いサポート(応援)役になれたら、とても理想的ではないでしょうか。

様々な活動が息を吹き返してきた中で、生徒たちがもつエネルギーが存分に発揮できるよう、自分の決めた将来への第一歩を思い切り踏み出せるようお手伝いしていこうと考えています。

「新たな時代」におけるPTA活動を会員の皆様と一緒に考え、盛り上げられる一年となりますように、願っております。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。



次なる目標

紫波総合高等学校校長 松田 隆宏

保護者の皆様には、日頃から本校教育活動への多大なる御理解と御協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。

本校は今年で94年目を迎えました。「知を求め、こころ豊かにたくましく」の校訓のもと、「生徒が希望に燃え、明るく、地域から信頼され続ける学校づくり」を目指しております。地域の皆様からの御協力をいただきながら、紫波町唯一の高校として、存在感と魅力を高めてまいりたいと考えております。

さて、令和6年度となりこれまでの間を振り返ってみますと、4月9日に入学式を挙行し、新入生94名を迎えることができました。翌10日には、対面式・部紹介が行われ、全校生徒242名が一堂に会し、新たな一年が本格的にスタートいたしました。緊張の面持ちの1年次でしたが、「先輩方からの御指導のもと、有意義な高校生活に

したい」と決意を述べておりました。5月に入りまして、17日には今年度第1回目の産直「かしの里」が開催され、大盛況でした。20日には生徒総会が行われ、今年度は「Re:make」を基

本方針として設定し、これまでの歴史・伝統を継承し、新しい取り組みを行い、次なる目標の100年に向けて、より素晴らしい歴史を刻んでいくことを全校生徒で確認いたしました。また、24日からは第76回岩手県高等学校総合体育大会が始まり、本校からは7つの競技に参加いたしました。各部、各選手ともに目標の達成に向けて全力で戦ってくれました。その中で、自転車競技部男子が昨年度に引き続きトラック競技で総合優勝を果たしてくれました。東北大会で1枚でも多く全国大会への切符を手中に収めてくれることを期待しております。

在校生の活躍はもうろんですが、卒業生に関する嬉しいニュースも飛び込んできました。令和6年5月23日の岩手日報1面には、「中野(紫波総合高出)初の五輪へ」13面には「中野いざ世界の頂上」という見出しで、本校平成29年度卒業生の中野慎詞選手がパリオリンピックトラック種目代表に選出されたとの記事が掲載されておりました。記事には、「小さい頃から世界で一番を目指してやってきました。(得意の)ケイリンで世界一になりたい」と中野選手のオリピックへの思いが語られておりました。オリンピックへの出場を果たした今、中野選手には次なる目標の「世界一」を達成してもらいたいと願っております。健闘をお祈りするとともに、先輩の活躍を励みとして生徒たちが更に成長してくれることを期待しております。

結びに、保護者の皆様には引き続き本校PTA活動への御理解と御支援をお願いいたしますとともに、PTA活動への多数の御参加をお願い申し上げ、挨拶いたします。

【令和5年度卒業生 合格・内定一覧 (令和6年3月31日現在)】

区分	人数	学校名・企業名
大学	3	岩手保健医療大学 日本大学、文化学園大学
短大	1	近畿大学通信教育学部
文科省 管轄外	1	岩手県立産業技術短期大学校水沢キャンパス、東北職業能力開発大学校
専門学校	16	岩手理容美容専門学校(2)、大原ビジネス公務員専門学校(2)、北日本医療福祉専門学校、国際医療福祉専門学校一関校、専修大学北上福祉教育専門学校(3)、盛岡情報ITクリエイター専門学校、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校(2)、花壇自動車大学校、神田外語学院、日本デザイナー芸術学院(2)、
就 職 (管内)	25	ALSOK岩手(株)(2)、岩手県立中央病院、岩手ニッカン(株)、イワテプリミート(株)、(株)サンデリカ盛岡事業所、(株)トーサイ盛岡西バイパス店(2)、(株)ブリヂストンリテール岩手、(株)ベルジョイス、(株)ホテル東日本、(株)ホワイトボデーショップ、社会福祉法人紫波会、社会福祉法人爽生会(シェーンハイムやはば)(2)、白石食品工業(株)、ニチコン岩手(株)(4)、フクビハウジング(株)、丸幸自動車工業(株)盛岡店、盛岡日産モーター(株)、(有)橋本組、(有)ブライトステージ
就 職 (管外)	8	SWS東日本(株)大迫工場、(株)新鉛温泉(結びの宿愛隣館)、(株)砂田屋、(株)セイワ、(株)長府製作所花巻工場、佐々長醸造(株)、社会福祉法人石鳥谷会、TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株)
就 職 (県外)	5	アイ・ティー・エックス(株)東日本支社、アルファクラブ東北(株)、(株)大正園、第一貨物(株)(2)
公務員	1	自衛隊

令和6年度PTA役員及びPTA学級理事

■PTA役員

PTA会長	生 徒	PTA副会長	生 徒	監 査	生 徒
鈴 木 由美子	3B 絢 菜	畠 山 美由紀	2C 彩 夢	高 橋 節 子	1A 花 恋
		吉 田 知 恵	3A 千 華	伊 藤 里 子	2A 彩 紗
		外 川 直 美	副校長	中 村 由紀子	3C 圭 志

■母親委員 (母親委員長… 副委員長…)

PTA会長	生 徒	PTA副会長	生 徒	監 査	生 徒
伊 東 留 美	1A 賢 太	伊 藤 里 子	2A 彩 紗	阿 部 章 子	3B 暖 陽
高 橋 節 子	1A 花 恋	佐 藤 郁 美	2A 綾 香	今 野 真由美	3B 優 良
後 藤 美 保	1B 駿 也	白 野 優 子	2B 楓	澤 口 ゆかり	3B 花
高 橋 晴 美	1B 彩 心	上 川 和佳子	2B 和 眞	鈴 木 由美子	3B 絢 菜
最 賀 万 里	1C 千 晴	中 島 忍	2B 澤	佐 藤 正 美	3C 優 矢
高屋敷 美 保	1C 琉 嘉	畠 山 美由紀	2C 彩 夢	中 村 由紀子	3C 圭 志
				竹 迫 裕 子	3D 暖 菜

■PTA理事

1年次	生 徒	2年次	生 徒	3年次	生 徒
伊 東 留 美	1A 賢 太	伊 藤 里 子	2A 彩 紗	吉 田 晃	3A 千 華
高 橋 節 子	1A 花 恋	佐 藤 郁 美	2A 綾 香	阿 部 章 子	3B 暖 陽
後 藤 美 保	1B 駿 也	鈴 木 宏 哉	2A 蒼 空	今 野 真由美	3B 優 良
高 橋 晴 美	1B 彩 心	白 野 優 子	2B 楓	澤 口 ゆかり	3B 花
最 賀 万 里	1C 千 晴	上 川 和佳子	2B 和 眞	鈴 木 由美子	3B 絢 菜
高屋敷 美 保	1C 琉 嘉	中 島 忍	2B 澤	佐 藤 正 美	3C 優 矢
		畠 山 美由紀	2C 彩 夢	中 村 由紀子	3C 圭 志
		千 葉 真太郎	2C 琥太郎	竹 迫 裕 子	3D 暖 菜

■PTA事務局

事務局長	佐 藤 貴 生 (3年次付 福祉)
事務局員	菅 原 寿 昭 (2D副任 理科)、森 田 絵 里 (1A担任 家庭)
	佐々木 敬 之 (2B担任 商業)、川 村 紅 子 (2A副担 英語)
	武 田 敏 之 (2年次付 農業)、千 葉 志 津 (1年次付 農業)
	鎌 田 大 樹 (1年次付 数学)

高総体を終えろ



《開会式》

硬式野球部

部長 3年A組

似内 龍昇



今年の硬式野球部は、不來方高校と連合チームを組みました。夏の大会単独出場を目標に日々の練習では、1年生が初

心者なので一人一人その日のできることを考えながらやってきました。紫波総合としては、昨年の7月に3年生が引退した後は、今年の3年生の芦楚悠也君と私とマネージャーの3名で活動していく予定でしたが、4月に3年生が1名入り、1年生が5名入り、合計8名となりました。1年生は初心者が多いですが基礎練習を中心に教え合いながらトレーニングを続けてきました。お互い厳しく注意しあい楽しく活動ができたと思います。1年生はとも努力をして自分たちについてきてくれます。また学年関係なくお互いに注意しあえる良い関係を作れています。7月の大会は3年生にとつては最後であり、1年生にとつては人生初の大会になります。悔いの残らないように力を合わせて頑張ります。

男子バレーボール部

部長 3年C組 伊山 七星

男子バレーボールは高総体で1勝することを目指して頑張ってきました。大会では1回戦の盛大付属戦に勝利して目標を達成しましたが、2回戦の専大北上戦で全力を尽くしたものの敗北しました。自分たちは本番に弱いチームで、いつも大会になると上手く動けず負けてしまうことが多いということが



課題でした。その課題を直すために、アップを見直し、声出しの意識をしました。その成果を発揮し、高総体では自分たちの代の公式戦で初めて勝つことができました。

した。

大会前には、体調を崩す人やけが人がでたり色々大変でした。しかし大会までに直そうと努力し、公式戦で1勝したことは3年間の努力がいきたからこそできたことだと思います。大会が終わっても残る3年生は1、2年生のサポートを重点的にやと思っています。9月の最後の大会までに悔いが残らない練習にしていきたいと思っています。

女子バレーボール部

部長 3年B組 鈴木 絢菜

私たち女子バレーボール部は高総体に向けて、日々の練習を頑張ってきました。惜しくも1回戦で負けてしまいましたが、一人一人が全力で試合をすることができたと思います。私たちは負けても笑顔でいることが大切だと思ひながら試合をしました。相手の

ペースに負けることなく笑顔で自分たちのペースを大切にしながらバレーをすることができたと思います。試合は負けましたけれど各々が課題を見つけ、これからの練習に活かして成長していけると思いました。高総体が終わって3年生は引退してしまうけれど、2年生1人、1年生7人の新体制で9月に行われる選手権大会に向けて部活動にとりくんでいます。去年よりも部員が増え、練習でできることが以前より多くなりました。みんなが支え合って、高総体でミスが多かったサブカット、お見合いを中心に試合中も声をだせるように練習をしていければいいなと思います。

バスケットボール部

部長 3年C組 中村 圭志

私たちバスケットボール部は、高総体に向け日頃の練習や練習試合に取り組んできました。男子は有望な1年生が多く入部してくれたため単独チームでの参加となり、女子



は盛岡北高校との合同チームで臨みました。

男子1回戦の相手は昨年度まで合同チームを組んでいた不来方高校との対戦となりました。序盤は県大会という緊張感で思ったようなプレーが出来ずにいましたが、徐々に自分たちのプレーが出来ようになり、練習で力を入れてきたオールコートディフェンスから3Pにつなげていく機会が増え、勝つことができました。同日に行われた2回戦では開始から自分たちのディフェンスからの速攻や3Pで相手を圧倒し差を広げましたが、2試合目ということもあり疲労から動きが悪くなる中で、序盤のアドバンテージを保ちながら2回戦も勝つことができました。3回戦の相手は県大会ベスト4常連である強豪校の一つ黒沢尻工業高校と対戦しました。開始は相手に立ち向かう気持ちを強く持ちプレーしましたが、ミスから失点を重ね前半で大量失点してしまいました。後半では相手の動きにも慣れてきたこともあり、ディフェンスから自分たちのプレーをする機会が増えましたが敗退しました。

女子1回戦は花巻南高校との対戦となりました。1Qは自分たちの持ち味である3



Pやオールコートディフェンスでリードしましたが、徐々に相手のペースに持ち込まれ、終盤まで一進一退の攻防となりました。最後は退場者も出たことで競り負けはしましたが、これまで重ねてきた練習の成果は発揮したと思います。

男子は高総体で9大会ぶりの初戦突破だけではなく、県大会2勝とこれまでの先輩たちを越えることが出来たと思います。これまで2・3年生3人で活動してきた中に入部してきてくれた1年生が短い期間の中で成長し、ついてきてくれたことで結果勝つことができたと思います。また、多くの練習試合の機会を準備し、日々の活動を支えてくれた顧問の先生及び保護者の皆様方には感謝の気持ちで一杯です。

今後は1・2年生が中心となり活動していくこととなります。来年の高総体で私たち3年生を越えていけるように、先を見据えて自ら何をすべきかを考え、全員が同じベクトルで活動していくチームになることを期待しています。

ソフトボール部

部長 3年B組 今野 優良

ソフトボール部では、高総体でベスト4を目標に日々の練習を頑張ってきました。

新人部員が入らず2人という少ない人数で活動しているため、盛岡中央高校、盛岡北高校、宮古高校、宮古商工高校の合同チームを組むことになりました。高総体では2回戦敗退でしたが、今までの練習の成果を一人一人が発揮できていたと思います。試合の流れを相手にもついていかれてしまった時も焦らずみんなでカバーし合ったり、話し合ったり、励まし合ったりしながら、最後まで全力で戦いました。盛岡中央、北高校とは約3年間、宮古、宮古商工とは約2カ月間の合同チームで上手いかななくて悔しかったことや、嬉しかったことがたくさんありました。この思いを経験したからこそ無事、高総体では1回戦を突破することができたと思います。2回戦では負けてしまいましたが、みんなとコミュニケーションをとり合い3年生にとっては悔いのない試合になりました。



メンバー17名中、3年生は6名でした。今後は2年生、1年生にはどんどん経験を積んで

頑張ってほしいと思います。合同チームを組んでくださった盛岡中央、盛岡北高校、宮古、宮古商工のみなさん、そして先生方本当にありがとうございます。

自転車競技部

部長 2年B組 昆 良祐

自転車競技部では、高総体でロード、トラックともに総合優勝を目標に日々練習を重ねて頑張ってきました。トラック競技では、ロードレーサーでの200MF・T、決勝とロードレーサー1kmT・T、ロードレーサーポイントレースで1年の菊池翔太君が1位をとりました。1kmT・Tでは2年の吉田翔哉君が3位、スプリントでは2年高橋和士君が3位という記録を残しました。そのお陰でトラック競技で総合優勝をとることができました。ロード競技では吉田翔哉君が2位、高橋和士君が4位、菊池翔太君が6位という結果でした。総合優勝は取れませんが、次の大会では総合優勝をとれるよう練習を頑張っていきたいと思っています。東北大会では、



団体は個人の種目でインターハイ出場権利をとることも目標です。そしてチームとして団体競技やチームスプリントでインターハイに出場したいです。

弓道部

部長 3年C組 大志田 ひなり

私たちは新しく1年生を迎えるまで、6人という少ない人数で活動してきました。

一人一人が半矢するということを目標に日々練習をしてきました。

私たち3年生にとって最後の大会となった高総体。昨年は合同チームを組み、出場しましたが、今年は合同チームではなく紫波総合高校として出場することができてすこうれしかったです。それぞれが毎日の練習の成果を発揮することができ、団体で十数年ぶりに予選突破を果たしました。ベスト16からベスト8までは昇りつめることはできませんでしたが、今までの大会で1番良い大会になりました。3年間御指導していただいたコーチに感謝の気持ちでいっぱいです。私たち3年生の倍の人数の2年生を上手くまとめることがで



大会で1番良い大会になりました。3年間御指導していただいたコーチに感謝の気持ちでいっぱいです。私たち3年生の倍の人数の2年生を上手くまとめることがで

きず困っていた時に支えてくれた副部長と、最後まで頼りない私たちについてきてくれた緒に頑張ってくれた2年生にも感謝しかありません。ミスをしてしまったり、上手くいかず辛かったりしたこともあったけれど、3年間の部活動はとても充実した活動でした。明るく元気な1年生を迎え入れ新体制を築いた今、皆で力を合わせて頑張っていきたいし、私たち3年生も弓道から得たたくさんさんの経験を活かし、それぞれの目標に向かって頑張りたいと思います。

陸上競技部

部長 3年A組 川戸 優人

僕たち陸上競技部は、自己ベストを更新し他校にも負けないタイムを出すために日々練習を続けてきました。新しい環境になりどうすればタイムを更新できるのかだけを考えて部活動に励んでいました。その結果、大会では見事自己ベストを更新することができた人もいました。時には励まし合い、時にはケンカも



しましたが、きちんと練習の成果を出すことができて良かったです。これから高総体だけでなく他の大会でも良い結果を出せるように日々努力を惜しまず練習に励んでい

こうと思います。私たち3年生は引退しますが、残った部員たちが自己ベストを更新できるように応援しようと思います。

ハンドボール部

部長 3年C組 伊賀 琉星



私たちハンドボール部は、花巻農業高校と合同で高総体に向けて日々の練習をしてきました。平日は筋トレや体力作りなどをして、休日は花巻農業高校と合同で練習をしました。合同練習は休日しかできないので、チームプレイなどの合わせができる時間が限られていました。しかしその限られた時間を大切にして練習をして

きましたが高総体は初戦で敗退してしまい、とても悔しい思いをしました。部員一人で活動していた自分と組んでくれた花巻農業高校さんのお陰で技術面でも向上できたと感じることができました。感謝の気持ちしかありません。大変なことたくさんありましたが、それらの経験があったからこそ今までハンドボールを続けることができました。3年間の活動の中でご指導いただいた先生方、先輩、後輩全ての方々には感謝しかありません。

事務局だより

今年度のPTA会長を鈴木由美子様にお引き受けいただき、新体制のもとで始動し4か月がたちました。日頃の保護者の皆様の御理解と御協力に教職員一同心より感謝申し上げます。今号では5月の高総体、6月のスポーツ大会での生徒の活躍をお届けします。

御意見、御要望がございましたら、お気軽にお寄せください。

本校の様子をnote.comでも発信しております。是非ご覧ください。

<https://shw-hs.note.jp/>

